



2022年12月期 決算説明会

株式会社 堀場製作所

代表取締役会長兼グループCEO 堀場 厚

代表取締役社長 足立 正之

2023年2月15日

説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～注力市場に向けた様々な施策
- 株主還元

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～注力市場に向けた様々な施策
- 株主還元

2022年の振り返り

外部環境

- ◆ ウクライナ危機や米中関係のさらなる複雑化など、国際情勢が緊迫
- ◆ 世界的な調達難に加え、エネルギー価格高騰をはじめインフレも加速
- ◆ 経済安全保障として半導体産業の世界的な構造改革が進む
- ◆ 水素エネルギーをはじめアンモニアや合成燃料への関心が高まる
- ◆ ライフサイエンス分野へさらに関心が集まる

内部状況

- ◆ 3つのフィールドにおけるクロスセグメントビジネスが加速
- ◆ 水素エネルギー・ライフサイエンスなど新分野でのビジネス拡大
- ◆ 産業でのプロセス計測制御のアプリケーション拡大
- ◆ HORIBAグループのグローバル連携による調達力強化

2022年12月期 連結実績

(単位：億円)

	2021年	2022年		増減	
	実績	前回予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回予想
売上高	2,243	2,650	★ 2,701	+458	+51
営業利益	320	430	★ 458	+137	+28
営業利益率	14.3%	16.2%	17.0%	+2.7p	+0.8p
経常利益	320	435	★ 468	+148	+33
親会社株主に帰属 する当期純利益	213	300	★ 340	+127	+40
USドル (円)	109.90	133	131.62	+21.72	▲1.38
ユーロ (円)	129.91	138	138.14	+8.23	+0.14

2022年12月期 連結実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2021年	2022年				2021年	2022年			
	実績	前回 予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回 予想	実績	前回 予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回 予想
自動車	612	660	675	+62	+15	▲0	▲15	▲6	▲6	+8
環境	202	235	★ 225	+23	▲9	19	20	21	+1	+1
医用	258	285	★ 297	+38	+12	1	5	▲0	▲2	▲5
半導体	870	1,120	★ 1,140	+270	+20	280	395	★ 420	+139	+25
科学	299	350	★ 362	+62	+12	19	25	★ 25	+5	+0
合計	2,243	2,650	★ 2,701	+458	+51	320	430	★ 458	+137	+28

★ : 過去最高

2022年12月期 連結実績 (B/S、CF)

B/S

- ◆総資産は、棚卸資産の増加などにより、
+451億円の4,167億円
- ◆自己資本比率は57.6%

(2021年12月末比)







CF

- ◆利益計上などにより、営業CF：+339億円
 - ◆設備投資などにより、投資CF：▲107億円
 - ◆長期借入金の返済などにより、財務CF：▲224億円
- フリーCF：+232億円

説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～注力市場に向けた様々な施策
- 株主還元

HORIBAから見た市場環境の想定

全般		With/Postコロナにおいて経済活動は回復基調 世界的なインフレの影響や複雑化する国際情勢に引き続き懸念
自動車		水素エネルギー・バッテリー活用、車両のIT化のさらなる加速を見込む 欧州での排ガス新規制導入に向けた内燃機関関連の開発投資需要回復に期待
環境		脱炭素の動向を受け、新エネルギー市場でのビジネス拡大を期待 環境規制需要は堅調に推移。半導体産業での大気・水質計測ニーズが拡大
医用		日本国内および成長市場での機器販売は堅調 機器販売が先行し、検査試薬の販売回復にはもうしばらく時間がかかる
半導体		半導体メーカーの設備投資が調整局面に 半導体市場は中期的には成長が見込まれ、計測需要も拡大
科学		様々な産業における開発および製造プロセス向け計測・分析機器が堅調 ライフサイエンス市場での需要拡大を期待

2023年12月期 業績予想

(単位：億円)

	2021年	2022年	2023年	
	実績	実績	予想	VS 前年
売上高	2,243	2,701	★ 2,900	+198
営業利益	320	458	★ 460	+1
営業利益率	14.3%	17.0%	15.9%	▲1.1p
経常利益	320	468	455	▲ 13
親会社株主に帰属 する当期純利益	213	340	★ 355	+14
USドル (円)	109.90	131.62	130	▲1.62
ユーロ (円)	129.91	138.14	140	+1.86

2023年12月期 業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2022年 実績	2023年 予想	vs 前年	2022年 実績	2023年 予想	vs 前年
自動車	675	790	+114	▲6	5	+11
環境	225	★ 250	+24	21	25	+3
医用	297	★ 310	+12	▲0	5	+5
半導体	1,140	★ 1,150	+9	420	385	▲35
科学	362	★ 400	+37	25	★ 40	+14
合計	2,701	★ 2,900	+198	458	★ 460	+1

説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～注力市場に向けた様々な施策
- 株主還元

2022年実績/2023年予想

(単位：億円)

2022年実績

※1 Mechatronics (自動車計測機器)
 ※2 Engineering Consultancy & Testing
 (自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験)

■ 受注は堅調だが、調達難の影響を受け、出荷・検収時期がスライド

【MCT※1・ECT※2】

- ・電動化、水素エネルギー関連需要を取り込み、販売増加
- ・水素エネルギー・バッテリーなど成長分野への投資拡大、調達価格高騰により費用が増加

2023年予想 中長期見通し

※2022年11月発表

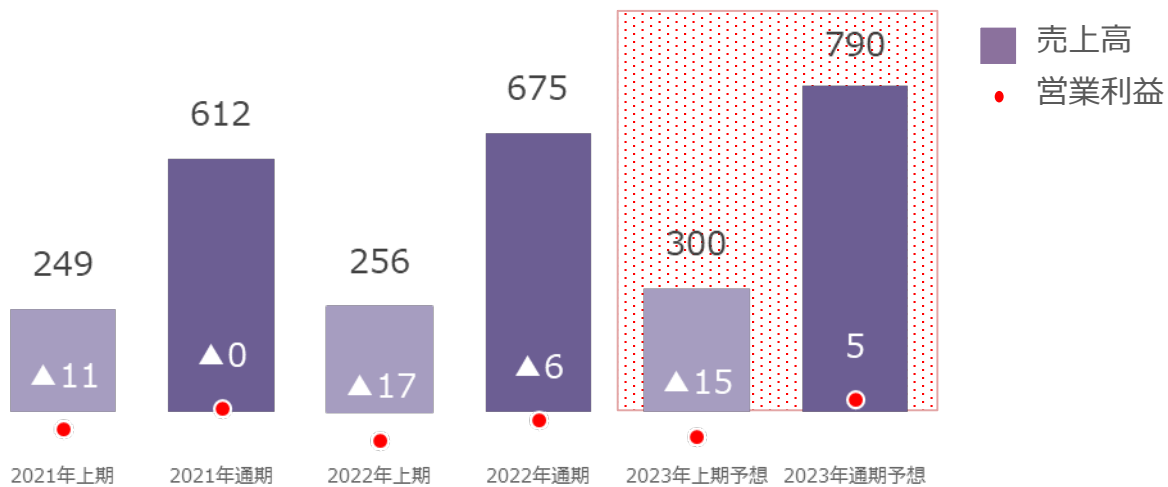
【排ガス】

欧州での排ガス新規制導入※を見据えた需要拡大

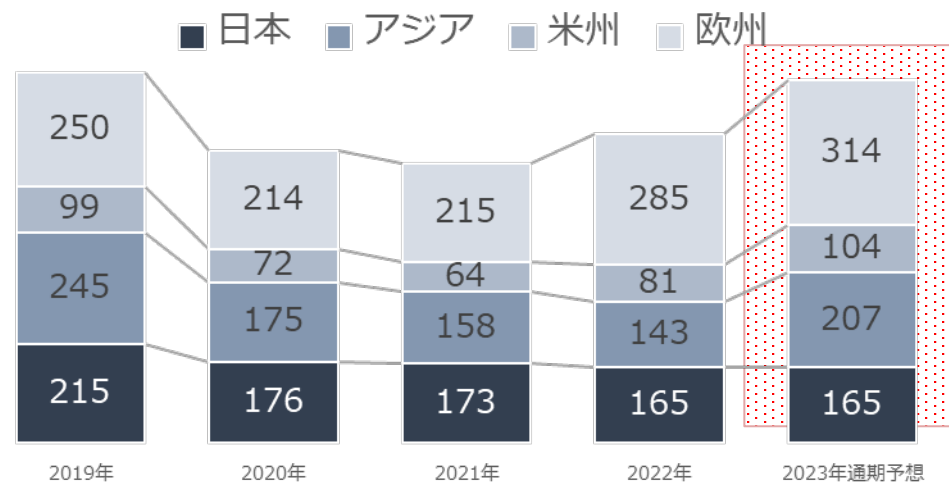
【MCT・ECT】

- ・次世代モビリティ開発分野での拡販を見込む
- ・水素エネルギー産業向け製品の受注は堅調。販売増加を期待
- ・MCTビジネスは高付加価値製品へシフトし、収益性改善をめざす

売上高・営業利益推移 (上期/通期)



地域別売上高推移



2022年実績/2023年予想

(単位：億円)

2022年実績

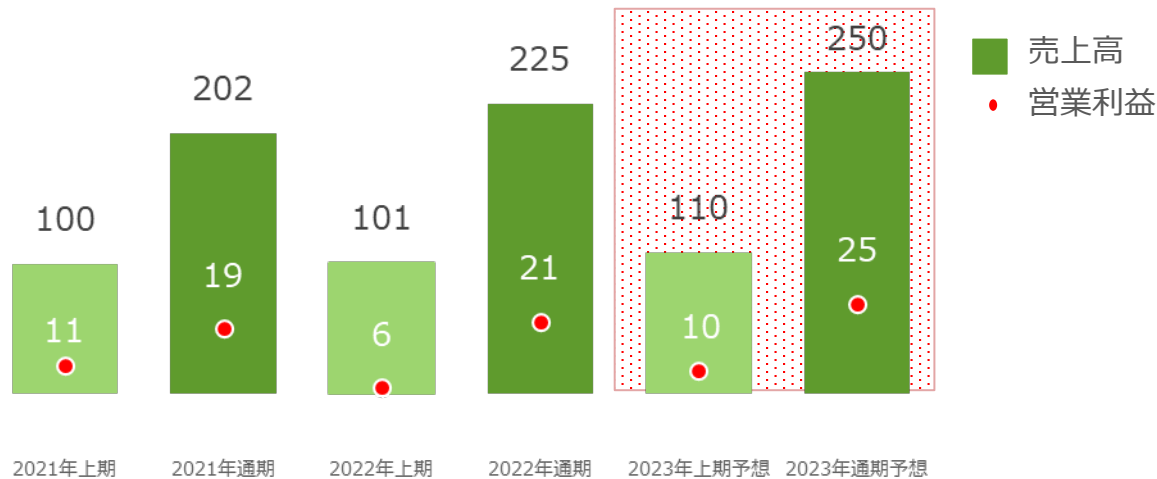
【水質計測】

電子産業などの製造プロセス、また環境規制対応に向けた水質計測機器の需要堅調

【ガス計測】

- ・ 環境規制関連需要に伴い、アジアにおける販売増加
- ・ 既存発電所での計測関連需要堅調

売上高・営業利益推移（上期/通期）



2023年予想 中長期見通し

※1 Total Organic Carbon
(全有機体炭素)

※2 Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
(二酸化炭素回収・有効活用・貯留)

- 環境規制関連に加え、産業分野でのプロセス計測需要増加を見込む

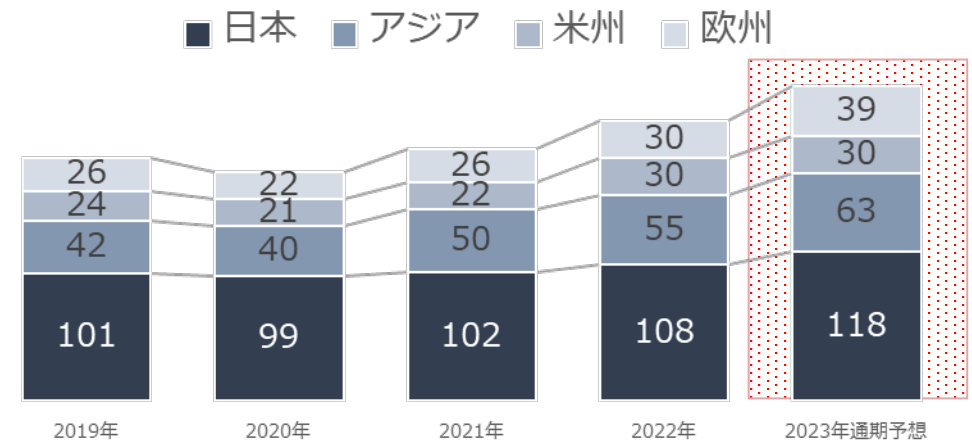
【水質計測】

TOC計※1をはじめとした新製品ならびに規制需要を取り込み

【ガス計測】

- ・ 電子産業でのガス計測需要の増加を見込む
- ・ 新エネルギー対応やCCUS※2関連の需要増加を見込む

地域別売上高推移



2022年実績/2023年予想

(単位：億円)

2022年実績

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残り、検査試薬の販売は低調に推移

【日本・アジア】

新製品販売などから、血球計数装置の販売が増加

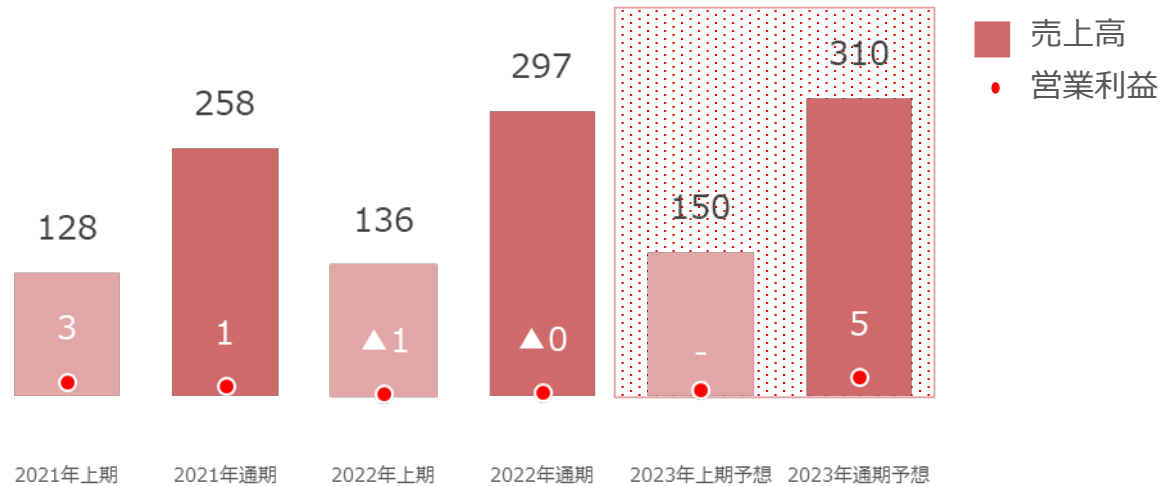
【米州】

生化学用検査装置及び試薬の販売が増加。生化学分野でのビジネス拡大のため投資も増加

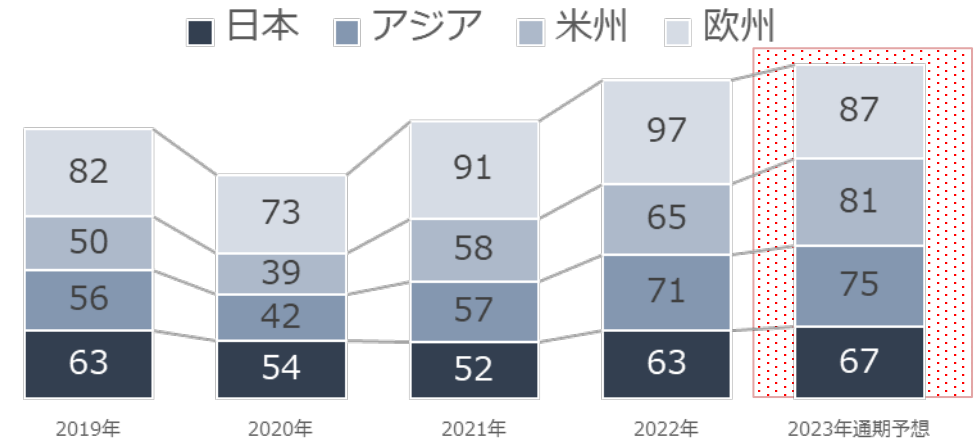
2023年予想 中長期見通し

- 日本国内および成長市場で機器販売が先行しており、今後の検査試薬販売回復を期待
- 免疫や生化学分野など、血球計数分野以外でのさらなるビジネス拡大をめざす

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



2022年実績/2023年予想

(単位：億円)

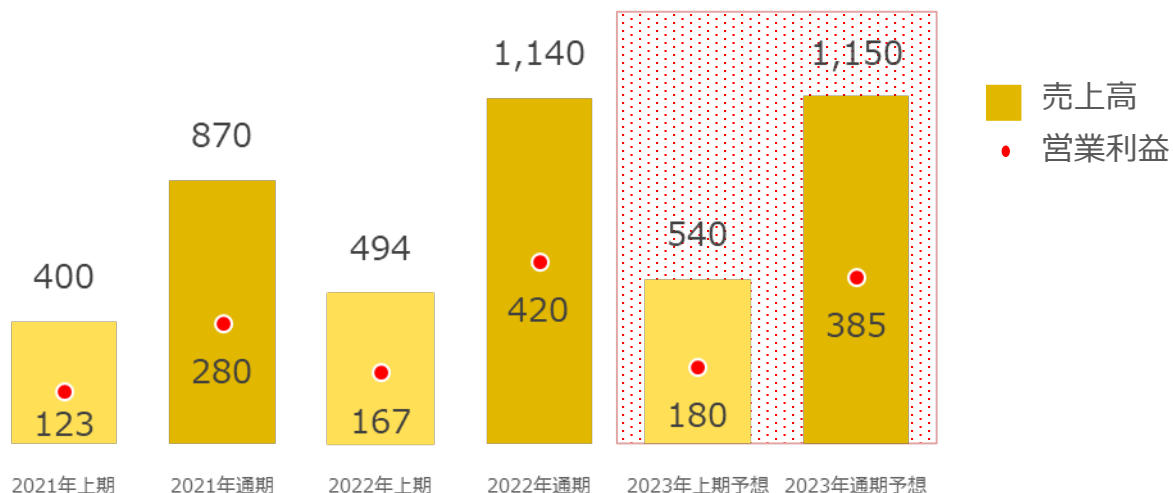
2022年実績

- 半導体メーカーの設備投資が一層拡大。半導体製造装置メーカーへの販売が大幅に増加
- 中国・インド向けビジネス拡大。太陽光パネルや人工ダイヤモンド製造向けマスフローコントローラーなどの需要拡大

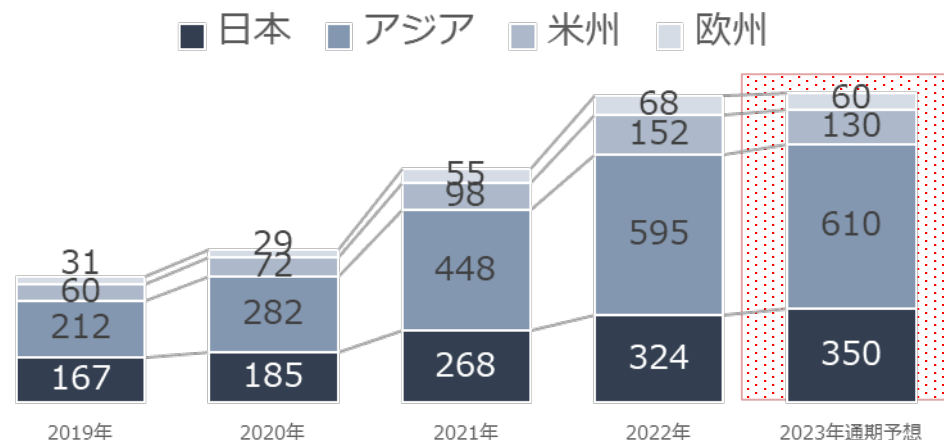
2023年予想 中長期見通し

- 年前半までは半導体メーカーの設備投資は調整局面
- 後半には市場の回復とともに需要拡大を期待
- 既存主力製品に加え、センシング技術活用によるビジネス領域の拡大を引き続きめざす

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



2022年実績/2023年予想

(単位：億円)

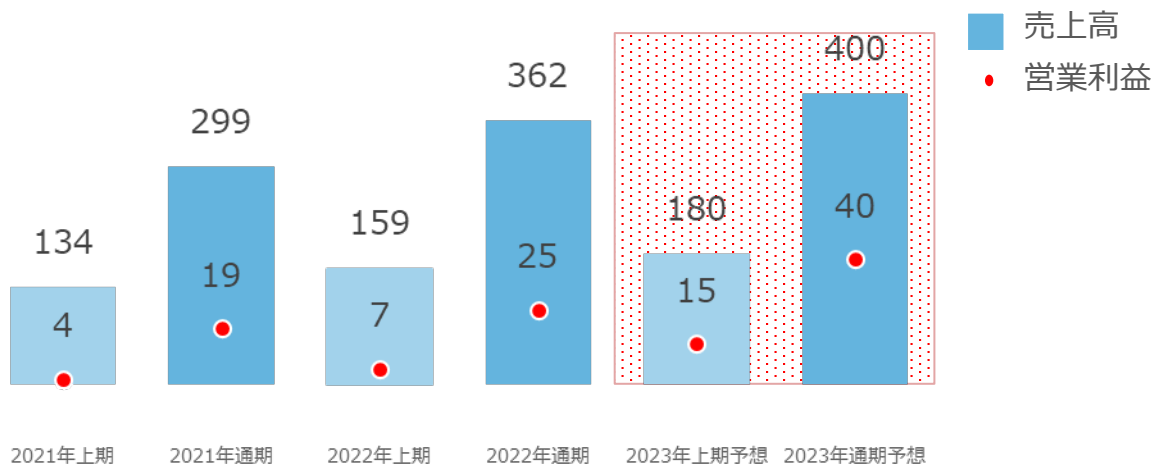
2022年実績

- 半導体製造装置メーカー向けなどの光学モジュールの需要堅調、販売増加
- 先端素材やライフサイエンスなどの市場に向け、ラマン分光分析装置や、粒子径分布測定装置、蛍光X線分析装置などの販売増加

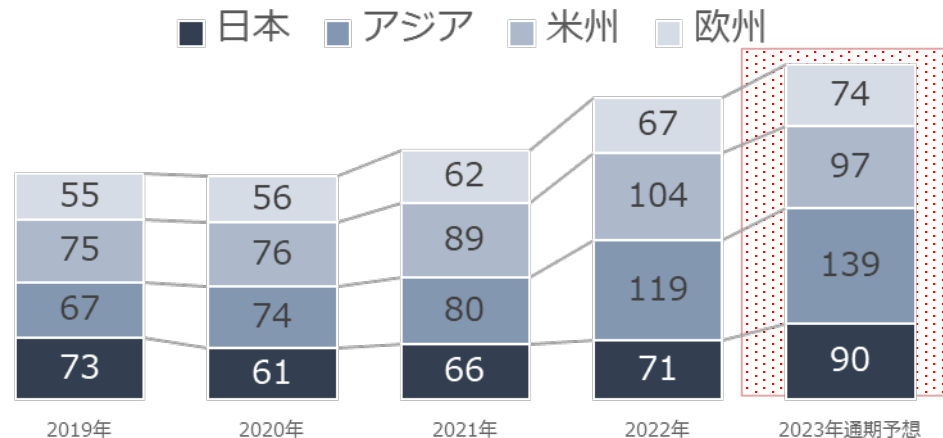
2023年予想 中長期見通し

- 最先端の研究開発向け製品拡販と並行し、産業プロセスモニタリングビジネスを拡大
 - ・ 製薬などライフサイエンス分野、半導体市場の産業プロセス向けに特化した製品への需要拡大を予想
- これまでに市場投入してきた新製品の成果の刈り取りを見込む

売上高・営業利益推移（上期/通期）



地域別売上高推移



説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **トピックス～注力市場に向けた様々な施策**
- 株主還元

注力市場に向けた様々な施策～MLMAP2023最終年

中長期経営計画「MLMAP2023」

Market Oriented Business

メガトレンドをリードする3フィールドに、コア技術をフル活用した分析・計測ソリューションを展開

Energy & Environment

Bio & Healthcare

Materials &
Semiconductor

自動車

環境

医用

半導体

プロセス

科学

Solution Provider Beyond “Life Cycle Management”

製品導入からリプレイスまで、全方位でお客様のコアビジネスをサポート

自動車事業
3つのコンセプト

Service Lifecycle
Management
- Conventional Energy -

Mobility Solution
Business

Alternative Energy
Conversion

<Energy & Environment> 水素ビジネスの展開

HORIBAグループ一丸となり水素エネルギービジネスを拡大

欧州では再生可能エネルギーで水素を生成する水電解装置（エレクトロライザー）の量産開始

Evaluatorシリーズはエレクトロライザー開発用評価装置と製造用検査装置

増加するニーズへ対応するHORIBAグループ



【シンビオ社】自動車部品大手ミシュランとフォルシアの水素・燃料電池に関する合併会社

- ✓ フランス・シンビオ社より燃料電池評価装置を受注
- ✓ ギガファクトリー建設開始のセレモニーで、燃料電池生産に不可欠なパートナーとしてHORIBAを紹介

SYMBIO



左：ホリバ・フューエルコン社エレクトロライザー評価装置



右：ホリバ・フランス社



- ✓ プロジェクトはホリバ・フランス社が受注
- ✓ ドイツ・ホリバフューエルコン社のエレクトロライザー評価装置製品に加え、HORIBAグループ会社の科学関連製品も納入予定

HORIBA

<Energy & Environment> CO₂分離・回収での分析・計測

カーボンニュートラル社会実現へ貢献

カーボンリサイクル技術（分離・回収）

✓ 化学吸収法の各工程での各種発生ガスを監視に貢献

発生ガス監視

CO₂の分離・回収にはアミン溶液を使った化学吸収法が広く使われている

アミン溶液モニタリング

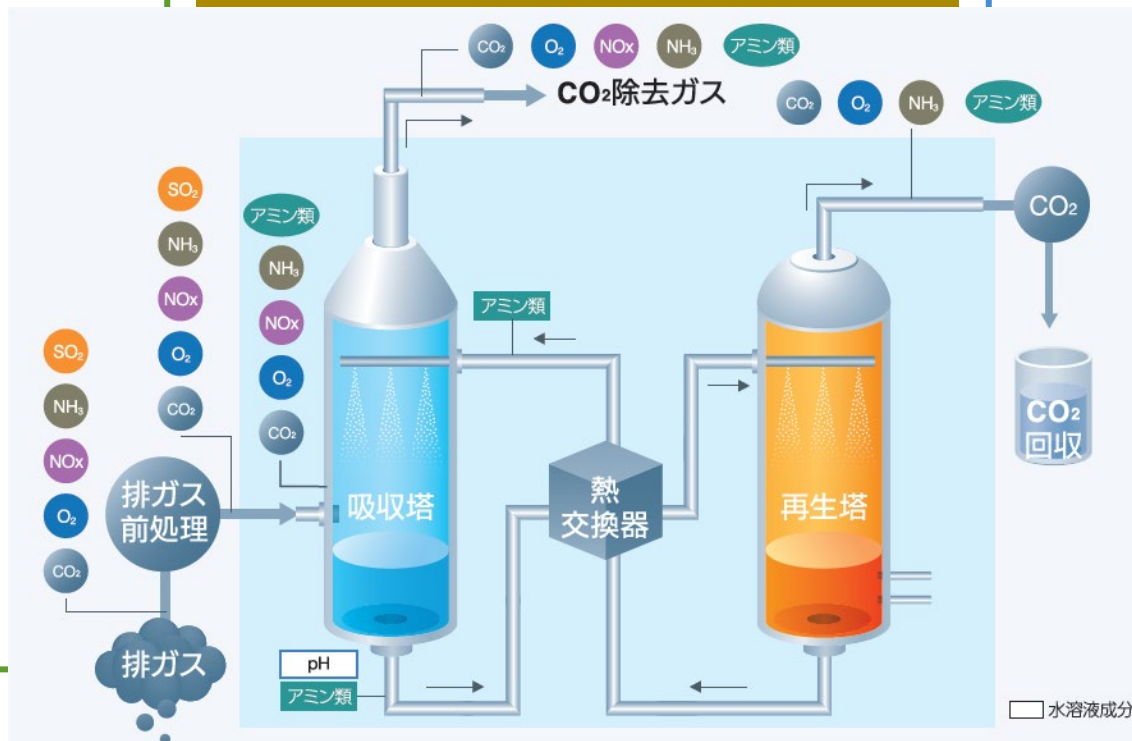
✓ アミン溶液の状態把握や交換・追加注入のタイミング判断に活用



高濃度ガス分析
マルチガス分析計



低濃度
ガス分析
微量ガス
分析計



現場設置型
pH・電気
伝導率計



プロセス
ラマン・蛍光
システム

<Energy & Environment> Mobility Solution Business①

自動車新領域での様々な開発ソリューションを提供

ホリバMIRA社—世界各地の自動車関連メーカーと緊密なパートナーシップで開発をサポート

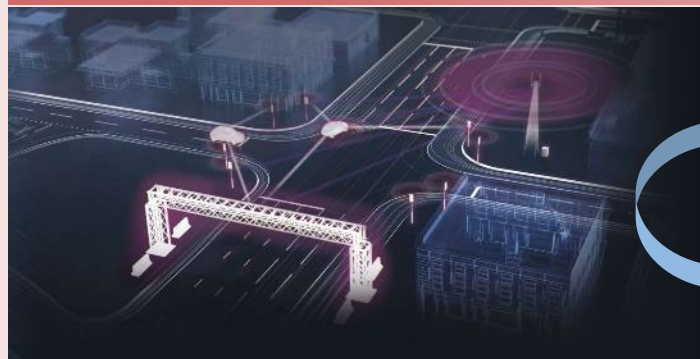
ホリバMIRA社 顧客	エンジニアリング	認証・規格試験対応	現地仕様試験	ベンチマーク試験	立地
英国拠点を持つ自動車関連企業	✓	✓			✓
英国拠点のない自動車関連企業	✓	✓	✓	✓	
自動車関連スタートアップ	✓	✓		✓	
自動車関連サプライヤー	✓	✓	✓	✓	
素材メーカー	✓			✓	



ASSURED CAV

- 2022年に本格稼働した設計から実車検証までを包括的に支援する、開発エンジニアリング総合施設
- イギリスのVehicle Dynamics International誌より“Test Facility of the Year”を2022年に受賞

シミュレーションと実証実験をシームレスに実施（デジタルツイン）



<Energy & Environment> Mobility Solution Business②

お客様の課題への解決策をパートナーとして検討

自動運転/ADASセンサ評価のための実環境シミュレーション装置

- ✓ 降雨等の悪天候時の環境認識性能に焦点をあて、公道走行時の降雨状況を再現
- ✓ センサーの性能限界を定量的・効率的に評価



1

- ✓ 霧から雨、豪雨※まで5段階の降雨を再現できる環境模擬装置

※20~100mm/hの降雨

2

- ✓ ADASを作動させるための、台上で実走行状態にできる装置
(操舵可能な4輪等速ベンチ)

交通安全環境研究所（独立行政法人自動車技術総合機構内）に納入

<Energy & Environment> Conventional Energy

HORIBAは燃焼計測をやめません

自動車開発用ラボの稼働率を担保

- ✓ 自動車電動化移行期における新車需要に応える既存のエンジン排ガス測定装置や開発ラボの活用を手厚くサポート

排ガスビジネス受注動向

2022年11月
EU次期排ガス規制
「Euro 7」発表

新規制導入へ向け
受注加速

2019 2020 2021 2022 2023 . . .
予想

多面的なアプローチ

<更新>

新規制対応の
最新設備に更新
最新スペック設備の導入

<延命>

機能維持の延命稼働プラン
新機能の追加

<リサイクル>

部品単位の取り外し
修理用ストック部品の管理



これまで約8,000台
出荷された
MEXAシリーズの
ほとんどは今も稼働中

<Bio & Healthcare> 医薬品製造プロセスでの製品展開

製薬業界でのビジネス拡大

製薬ビジネスプロセス

製薬会社
—R&D—

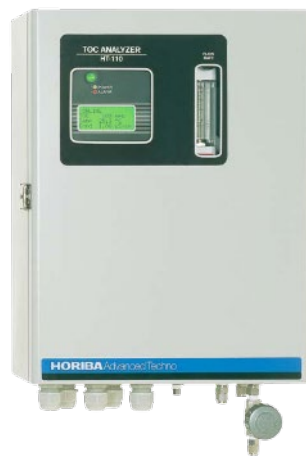
医薬品受託製造
(CDMO)

製薬会社—営業・販売—

医薬品市場

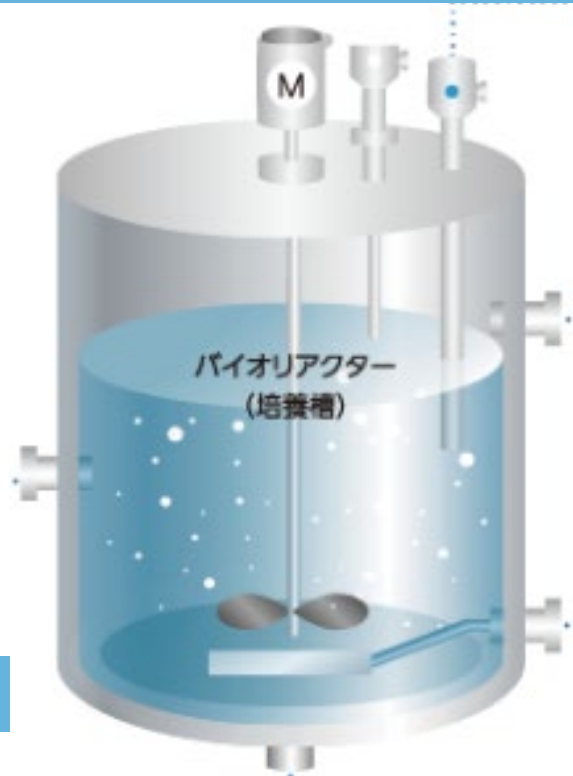
ラマン分光分析装置をはじめとするハイエンド分析・計測装置の提供

リアルタイムモニタリングを実現し、歩留まり向上に貢献



TOC計

全有機体炭素測定



バイオリアクター
(培養槽)



プロセス
ラマン・蛍光
システム

培地成分モニタリング



微量
サンプリング
pH計

pH管理

<Materials & Semiconductor> クロスセグメントで機会拡大

研究開発から製造まで—HORIBAの分析・計測技術の活用

半導体
製造

ファシリ
ティ

クリーン
ルーム

製造
装置

研究
開発

製造装置

半導体製造における
キーコンポーネントおよび装置



マスフロー
コントローラー



薬液濃度
モニター



プラズマ
発光モニター



放射温度計



レティクル/
マスク
異物検査装置

研究開発

膜厚評価やCMP
スラリー評価など
研究開発に貢献



分光
エリプソメーター



遠心式ナノ粒子
解析装置

クリーンルーム

クリーン
ルーム内の
分子状
汚染物質
(AMC)
監視



AMC
モニタリングシステム

ファシリティ

スマートファクトリー化に向けた
連続モニタリング



高感度シリカ
モニター



無補充式
セルフクリーニング
pH電極



プロセス用
レーザーガス
分析計

<Materials & Semiconductor> 多面的に活躍するMFC

マスフローコントローラー（MFC）が太陽光パネルや人工ダイヤモンド製造に寄与

中国・インドを中心に一般産業用MFCの受注規模拡大

一般産業用MFC受注動向



2022年の受注は
100億円規模に

2020 2021 2022 2023 予想 . . .

太陽光パネルや人工ダイヤモンド、パワー半導体向けの製造装置に搭載されるMFC

一般産業用MFCは北京の厚礼博精密儀器社にて生産



厚礼博精密儀器社が入居する北京市内のビル

インドにおいても一般産業用MFCの生産を開始（2023年上期）



ホリバ・インド社（プネ）

中国新拠点“HORIBA C-CUBE”本格稼働

中国市場ニーズに応える新拠点

- ✓ HORIBAの全セグメントが一堂に会する中国拠点
- ✓ 開発・生産・アフターサービスまで一貫して行うHORIBA最大規模の拠点

厚立方 HORIBA C-CUBE

発音 (Pin Yin): Hou Li Fang



Core
核心



Cross
融合



Change
変化



Challenge
挑战



Community
共同体

5つの意味を持つC-CUBEの“C”



堀場儀器（上海）有限公司

所在地： 上海市嘉禎区

従業員数： 144名※

総工費： 約90億円

※2022年12月末時点

中国最大の自動車産業地域で、新エネルギー車開発の重点エリアにある

MIRA UGV社の株式譲渡

- ホリバMIRA社が保有するMIRA UGV社の株式の一部をイタリアのIveco Defence Vehicles S.p.A. (IDV社) へ譲渡
 - ✓ ホリバMIRA社は、30年近くにわたり防衛産業向けに無人運転車両の車両開発エンジニアリングサービス事業を展開
 - ✓ 普通自動車やHeavy-duty vehicle分野に集中すべく、MIRA UGV社の株式の一部を譲渡
 - ✓ 譲渡に伴い、2023年第1四半期決算において、関連する利益として、約62億円を特別利益に計上する見込み

今後の展開

- IDV社はMIRA Technology Parkのテナントリース契約、および長期エンジニアリング契約を締結
- ホリバMIRA社がエンジニアリングサービスを提供、IDV社と共同で技術開発を行う



説明内容

- 2022年12月期 決算概要
- 2023年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス～注力市場に向けた様々な施策
- 株主還元

株主還元政策

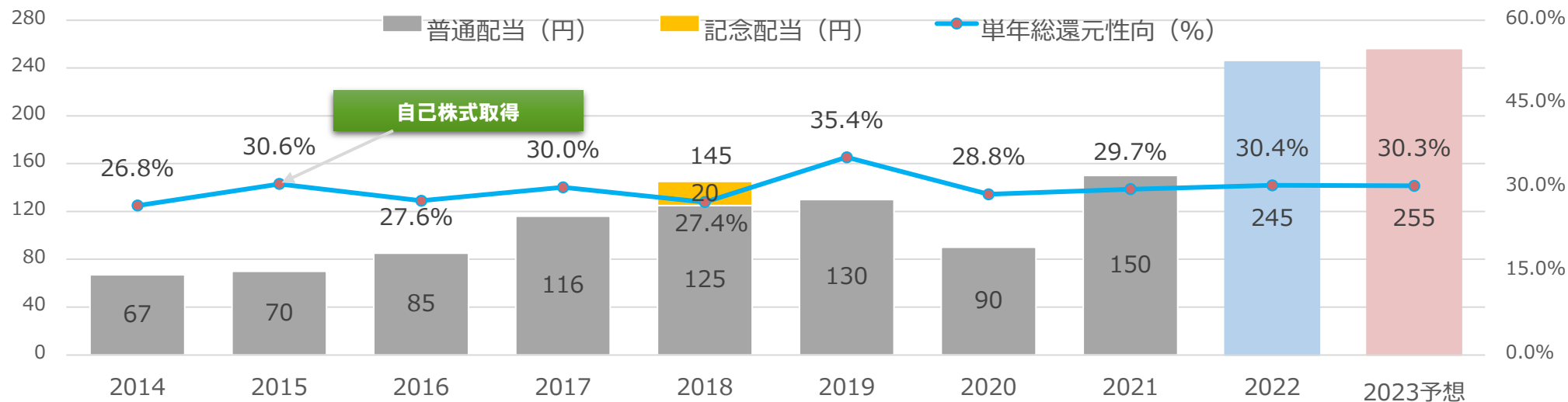
基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

配当金及び自己株式の取得

- 2021年実績 150円[中間 50円、期末 100円]
- 2022年実績 245円[中間 65円、期末 180円]
- 2023年予想 255円[中間 80円、期末 175円]

配当推移





2022年12月期 決算説明会 ～決算詳細説明～

株式会社 堀場製作所

常務取締役 財務法務本部長 大川 昌男

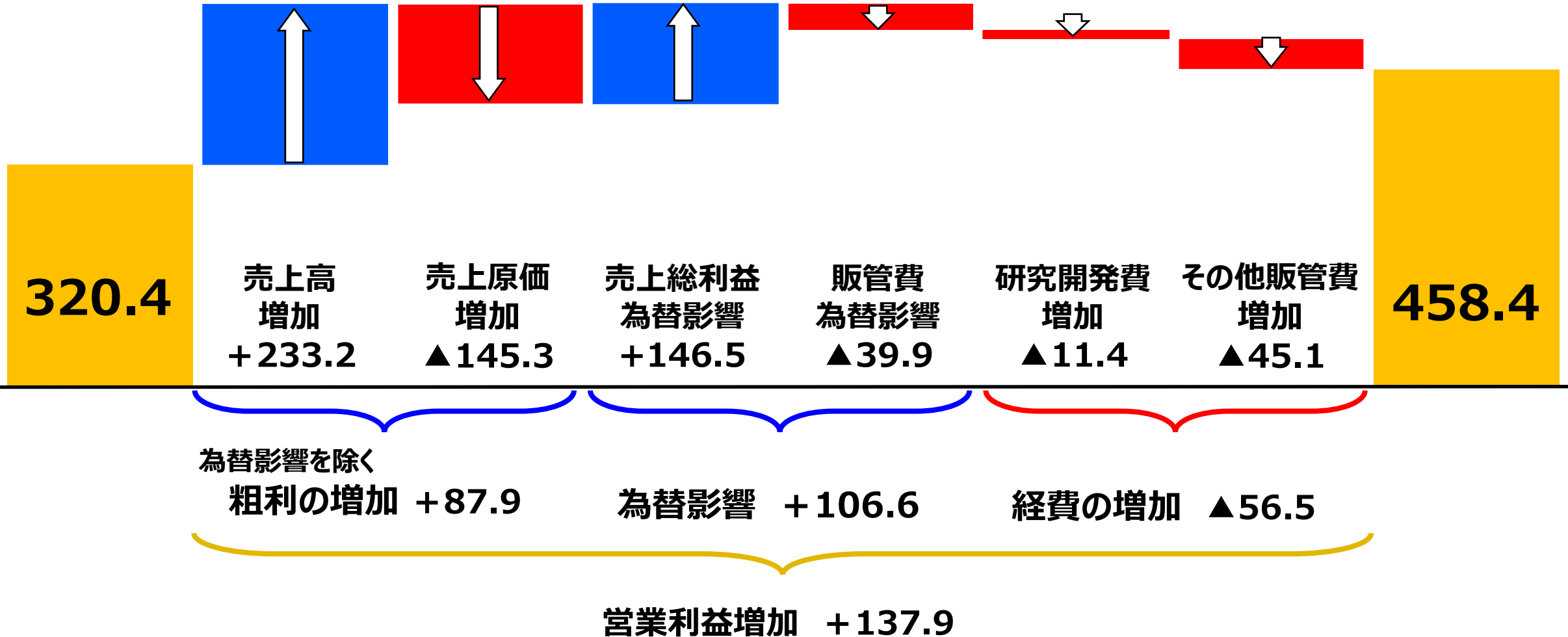
2023年2月15日

営業利益分析

(単位：億円)

2021年

2022年



営業外損益

(単位：億円)

	2022年
売上高	2,701.3
営業利益	458.4
経常利益	468.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	340.7

	2022年	2021年
営業利益	458.4	320.4
金融収支	1.9	▲ 1.2
助成金収入	2.7	0.9
為替差損益	2.1	▲ 2.4
その他	3.3	2.6
営業外収支戻	10.1	▲ 0.0
経常利益	468.6	320.3

特別損益・法人税等

(単位：億円)

	2022年
売上高	2,701.3
営業利益	458.4
経常利益	468.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	340.7

	2022年	2021年
経常利益	468.6	320.3
固定資産売却益	5.1	0.4
減損損失	-	▲ 15.2
事業構造改善費用	-	▲ 2.6
その他	▲ 1.0	▲ 0.8
特別損益戻	4.1	▲ 18.3
税金等調整前当期純利益	472.7	302.0
法人税等 など	▲ 131.9	▲ 88.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	340.7	213.1

連結キャッシュフロー

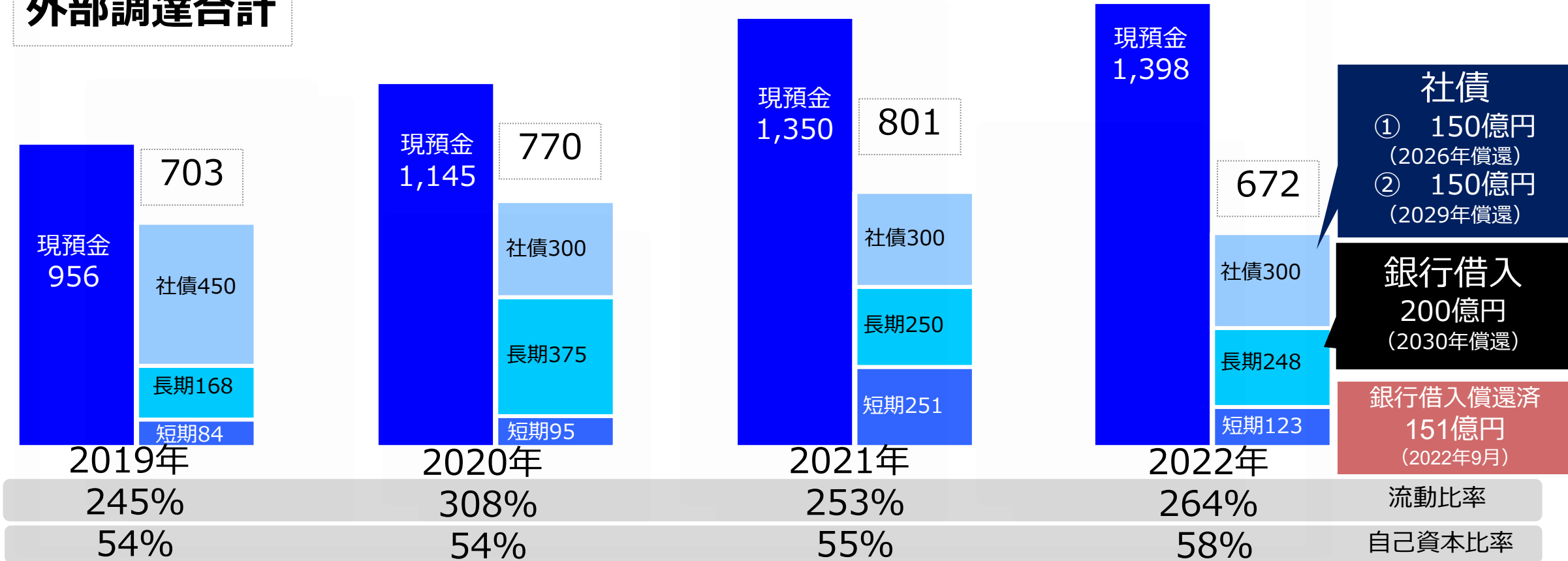
(単位：億円)

	2022年通期	2021年通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	+339	+352	▲ 13
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 107	▲ 146	+39
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 224	▲ 40	▲ 184
現金及び現金同等物期末残高	1,387	1,339	+48
フリー・キャッシュ・フロー	+232	+206	+26

資金の状況

(連結ベース、各期末)
(単位：億円)

外部調達合計



・直近の格付け：R&I 「A」 (2022年9月)、JCR 「A+」 (2022年9月)

為替推移／想定レート／影響額

	2021年	2022年	2023年	
	実績	実績	予想	VS 前年
USドル	109.90	131.62	130	▲1.62
ユーロ	129.91	138.14	140	+1.86

2022年 為替影響額（前年同期比）

（単位：億円）

売上高の増加	+ 224.9
売上原価の増加（逆符号）	▲ 78.3
売上利益の増加	+ 146.5
販売費及び一般管理費の増加（逆符号）	▲ 39.9
営業利益への影響	+ 106.6

為替感応度（2023年通期予想） 1円円安による売上高/営業利益の影響額

（単位：億円）

	売上高	営業利益
USドル	+ 7.8	+ 4.3
ユーロ	+ 3.8	+ 0.1

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2021年	2022年				2023年	
	実績	前回予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回予想	予想	VS 前年
設備投資額	124	135	125	+0	▲ 9	140	+14
減価償却費※	104	110	113	+9	+3	120	+6
研究開発費	167	190	185	+18	▲ 4	220	+34
(対売上高比)	7.4%	7.2%	6.9%	-	-	7.6%	-

※のれん償却費含む

2023年
トピックス

- 有形固定資産
半導体・自動車関係設備投資強化、各拠点設備強化
緊急度・優先度を考慮し、投資判断を行う

ご参考

[参考]2022年実績/2023年予想 【半期ごと】

(単位：億円)

	2022年実績			2023年予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,149	1,551	2,701	1,280	1,620	2,900
自動車	256	418	675	300	490	790
環境	101	123	225	110	140	250
医用	136	160	297	150	160	310
半導体	494	646	1,140	540	610	1,150
科学	159	202	362	180	220	400
営業利益	162	295	458	190	270	460
自動車	▲ 17	10	▲ 6	▲ 15	20	5
環境	6	14	21	10	15	25
医用	▲ 1	0	▲ 0	-	5	5
半導体	167	252	420	180	205	385
科学	7	17	25	15	25	40
経常利益	167	300	468	188	267	455
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	112	228	340	170	185	355

ご清聴ありがとうございました

☆ 最新情報はWebでも！

堀場製作所

検索

☆ お問い合わせ先

経営企画室 IR・ESGチーム

E-mail : ir-info@horiba.com

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun



Terima kasih
谢谢
Gracias
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ
धन्यवाद
شُكْرًا
Danke
Tack ska du ha
Grazie
THANK YOU
Obrigado
Большое спасибо
Cảm ơn
Merci
감사합니다
ขอบคุณครับ
ありがとうございました
Dziękuję